

# 2018 年 論文出版支援の申請について

2018 年 2 月 5 日 炭素材料学会 次世代の会

## (1) 本制度の目的

本助成は、次世代の会の会員による炭素材料に関する論文出版にかかる費用の補助を目的とする。

## (2) 助成の内容

論文出版にかかる以下の(i)~(iv)の費用について、1 件につき**最大 10 万円**までの補助を行う。2018 年は 1~2 件の採択を予定。1 件の申請の対象は 1 つの論文のみとするが、下記(i)~(iv)の複数の項目を含んだ申請は可とする。

- (i) 有料誌への掲載料
- (ii) Front cover, Back cover, Inside cover などポスター掲載費
- (iii) 図のカラー化の費用
- (iv) 論文のオープンアクセス化の費用

上半期 (1~6 月) と下半期 (7~12 月) の 2 期間に分け、以下の公募を行う。ただし、上半期で複数件の採用があり予算が尽きた場合、下半期の募集は行わない。

### I. 上半期 (1~6 月)

以下のいずれかの助成を行う。

- ① 科学雑誌に掲載が決定した原著論文 (総説、解説を除く) で極めて重要度が高いと判断されるものに関し、(i)~(iv)のいずれか (もしくは複数) に該当する件への助成を行う。
- ② 科学雑誌に掲載が決定した原著論文 (総説、解説を除く) で重要度が高く、次世代の会内部の共同研究 (異なる研究室所属の次世代の会メンバーが 2 名以上共著者に含まれること、ただし学生は除く)、もしくは次世代の会会員と異分野研究者 (いずれも学生は除く) との共同研究に関する論文について、(i)~(iv)のいずれか (もしくは複数) に該当する件への助成を行う。

### II. 下半期 (7~12 月)

科学雑誌に掲載が決定した原著論文 (総説、解説を除く) で一定水準以上と判断されるものに関し、(i)~(iv)のいずれか (もしくは複数) に該当する件への助成を行う。

## (3) 申請の条件

本助成を申請するには、以下の条件が全て満たされる必要がある。

- ① 論文の内容が炭素に関連するものであり、アクセプトされていること。
- ② 申請者は次世代の会会員であること。ただし、学生会員は不可とする。
- ③ 申請者は該当論文の筆頭著者 (first author) もしくは連絡著者 (corresponding author) であること。
- ④ 同一年内に既に助成を受けていないこと。同一人物が受け取れる助成は年に 1 回までとする。

## (4) その他特記事項

- ① 本助成公募は 2018 年 1 月 1 日より開始する。予算 (10 万円) が尽きた時点で終了とする。
- ② 出版にかかる費用が本助成の上限金額 (10 万円) を上回る場合、本助成では 10 万円までを援助し、残りの金額は申請者の負担とする。
- ③ 本助成を受けた後には、論文の紹介を「炭素」誌のレポート欄に投稿すること。長さは A4 で 1 枚程度とする。

## (5) 申請方法

本助成の申請は、次世代の会幹事長 (kgotoh@okayama-u.ac.jp) に電子メールにて行う。申請の際、以下の情報を送付すること。

- ・申請者の氏名
- ・所属
- ・炭素材料学会の会員番号
- ・生年月日 (次世代の会の年齢制限確認のため)
- ・申請金額 (ジャーナルから請求される料金を超える申請は不可)
- ・アクセプトされた論文の写し (PDF ファイル)
- ・ジャーナルから請求される料金が記載された資料の写し (PDF ファイル)

**(6) 選考について**

申請後、速やかに常任幹事会にて可否を判断し、数日以内に申請者に通知いたします。

**(7) 助成決定後の手続き**

・助成決定後は、炭素材料学会事務局 ([tanso-post@bunken.co.jp](mailto:tanso-post@bunken.co.jp)) および幹事長 ([kgotoh@okayama-u.ac.jp](mailto:kgotoh@okayama-u.ac.jp)) に、掲載料等の領収証または請求書 (コピー可) を添付すること。送金方法は基本的に申請者の銀行口座への振込とする。振込の時期は、助成決定後1ヶ月以内が目安。炭素材料学会事務局より、口座振込用紙がメール送付されるので、これに記入の上、炭素材料学会事務局に提出すること。